

令和6年度

高森町一般会計補正予算（第4号）
概要書

高森町ホームページリニューアル委託事業

●高森町のホームページを、町内外の方が見やすく、目に留まりやすいデザインに一新すると共に、職員の操作性を良くすることで更新頻度の向上を目指します。

【現状と課題、事業の目的】

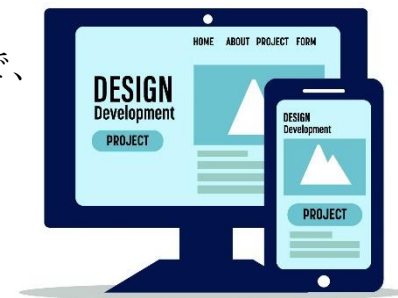
前回ホームページの更新が行われたのは10年以上前であり、見やすさや作業操作の非効率さに大きな課題がある。本年度、新たにDX推進係が発足したことに伴い、**デジタルツールを生かしたホームページにリニューアル**する。閲覧者が見やすくわかりやすいものを目指すとともに、**CMS※1**等を活用し、職員の操作性を向上させて発信力を上げる。
※1 CMS（コンテンツマネジメントシステム）WEBの専門知識がなくても、ホームページのコンテンツ・レイアウト・デザイン等を更新することができるシステム。

【対策及び事業内容】

- ・全国の自治体ホームページからインパクトや見やすさ、サイトの入りやすさなどのランキングを参考に業者を選定
- ・CMSを活用してコンテンツの管理を容易にし、操作性を上げることで更新頻度を向上させる
- ・サブサイト機能を利用して特に注目してほしい事業などに特化したサイトを作成することで、見やすいホームページへリニューアルさせる

【設計業務委託先の選定方法】

公募型プロポーザル方式による業者選定



事業費	補助額	一般財源
2,045万円	0円	2,045万円

高森町多目的広場整備に伴うカーテン設置補助

●高森町多目的広場照明設備設置完了を見込み、隣接する住宅へカーテン設置の補助を行います。

【課題・事業の目的】

高森町多目的広場の照明設備設置に伴い、照明照度には十分配慮しているものの、隣接する住宅において日常生活に新たな影響が生じる住宅に対して遮光カーテンの設置補助を行う。

【補助対象者】

高森町多目的広場に隣接する昭和北区・旭通区の住宅のうち、夜間照明の明るさにより日常生活に新たな影響が生じた住宅で、遮光カーテンの設置を希望する者。

【補助額】

1軒あたり2万円以内
(対象経費の10分の10以内とし、2万円を上限とする)
2万円×20軒＝40万円



事業費	補助額	一般財源
40万円	0円	40万円

ケアプランデータ連携活用促進モデル事業

●介護事業所と居宅介護支援(ケアマネ)事業所の情報連携をDX化することで業務負担及び費用負担の軽減を図ります。

【現状及び課題】

- ・介護サービス（デイサービス、ヘルパー、ショートステイなど）を利用するにはケアマネージャーがケアプランを介護ソフトで作成し、翌月の利用予定表を介護事業所に紙媒体で提出（FAX又は持参）する。
- ・介護事業所は、受け取った予定表を基に介護ソフトに1ヶ月の利用予定を入力。1ヶ月のサービス利用後に実績をケアマネ事業所に提出。
- ・ケアマネ事業所は受け取った実績表を基に介護ソフトに入力。その実績を基に国保連合会へ介護給付費の請求
- ・利用者ごと、介護事業所ごとに作成するため、ケアマネ1人あたり100枚以上となる。
⇒紙・インク代、FAX、ガソリン代等のコストがかかる。また、FAXや持参する場合、拘束時間が長い
- ・事業所によっては数百枚の予定表を介護ソフトへ手入力するため、入力ミスが起こり得る。
⇒入力ミスの場合、国保連合会での審査ではじかれ、支払いが翌月以降に延期される。

【ケアプランデータ連携システムの概要】

- ・国が開発したシステムでデータによる連携を可能とするシステム。それぞれの介護ソフトからCSVファイルを出力し、ケアプランデータ連携システムから一括で送受信することが可能となるシステムで年間21,000円の利用料が必要。令和5年4月からスタートしているが**介護事業所とケアマネ事業所の双方が利用していないと利用できない**。便利なシステムだと考える事業所は多いが、単独で導入しても効果が見込めないため、全国的に導入が進んでいない。
⇒多くの事業所が導入するために町が旗振り役となる必要がある。



【対策、事業内容】

- ・導入に向けた介護事業所向け説明会
- ・ICT支援員によるサポート（初期セットアップ、現地・電話サポート、マニュアル作成など）
- ・ケアプランデータ連携システム利用料の助成、事業所ごとに異なる介護ソフトのシステム改修費用等の助成

【財源】各都道府県で5箇所のモデル地区となっており、補助率100%（国9/10、県1/10）

事業費	補助額	一般財源
487万円	487万円	0円

高森峠千本桜園地デザイン業務委託

●高森千本桜園地一円のフルリニューアルを進めるにあたり、観光地としてのデザインを考え、新しい千本桜の可視化を図ります。

【現状と課題、事業の目的】

昭和3年から高森町の観光名所とするために、桜やつつじが植樹され管理してきたが、枯れて見栄えが悪くなっているため早急な対応が必要である。

より美しい観光地を目指すため、**高森峠一円を3D化**し、今後実施予定の桜の植樹、遊歩道、駐車場等の整備を可視化することで、管理がしやすい持続可能な高森峠を展開していく。



【事業内容】

高森峠千本桜一円のデザイン構築及び3D化（可視化）

事業費	ふるさと応援基金	一般財源
498万円	498万円	0円

高森町多目的広場オープニングセレモニー及び町民スポーツ交流会

●防災機能を有した施設として整備を進めている高森町多目的広場のオープニングセレモニー及び町民スポーツ交流会を行います。

【現状と課題・事業の目的】

熊本県有施設であった「高森高校第2グラウンド」を高森町が用地取得し、有事の際に災害復旧対策や車中避難所等の機能を有した多目的広場の整備を進めている。これまで熊本県立高森高校の野球場として利用されてきた施設を、今後、**防災機能を有しつつ町民が日常的に社会体育施設として利用できる施設にリニューアル**することを広く町民に認知してもらうことを目的として、町民スポーツ交流会を開催する。

【事業内容】

高森町多目的広場オープニングセレモニー及び町民スポーツ交流会（グラウンドゴルフ）

【対象者】

高森町民 120名程度

【開催時期】

令和7年1月中旬から下旬を予定

【経費】

報償費：50万円 賞品（商品券）

運営委託費：30万円

消耗品費：5万円



事業費	ふるさと応援基金	一般財源
85万円	85万円	0円

県立高校すまいの確保支援事業

●高森高校下宿生の家賃や住環境整備等の支援を行います。

【現状】

高森町営寮（たかもり時空和ベース）が満室に近い状況であり、今後の入学希望者の受け入れが困難な状況が生じている。

【背景】熊本県が制度設計し、下記補助要件に本町が該当したため、本事業を活用。

（補助要件）

全国募集をする学科及びそれに準ずる学科を有し、自宅から通学困難、近隣に下宿やアパート等環境不十分な高校において、以下の要件を満たす市町村

- ①現在、県営でない県立高校生用の寮が存在し、満室
- ②協定等に基づき県立高校の住まいの確保に取り組んでいる

【目的】高森町営寮（たかもり時空和ベース）と町内の下宿との格差是正（家賃の差や食事の有無に対する格差是正）を補助することで、県内外から高森高校へ通う生徒のすまい確保を支援する。

【内容】①【家賃支援】

たかもり時空和ベースとの家賃の差額支援（一人当たり月額1万円まで）

②【入居生徒への食事支援】

平日の昼食・土日祝日の食事支援（一食当たり500円まで）

【補助率】2/3（熊本県）



事業費	補助額	高森高校魅力化基金	一般財源
202万円	134万円	68万円	0円